



鹿大のポップアップ 重信 秀峰 interview

～生い立ちを聞かせて下さい。～

小さい頃は家の前が海で後ろが山の環境だったので、とにかく外でよく遊んだ。トカゲをとったり山ゆりをとったり、近くの海で橋の上からよく飛び込んでいた。中学、高校と体が大きくなり、友人も増えたが、自分が何をしたいかがわからず、世の中に不満を感じ、反社会的な行動をとることが多くなった。高校の時は早く自分で働いてお金を手にしたかった。両親のおかげで生活に窮していたわけではなかったが、とにかく自分で稼いだお金を手にしたかったので一番わかりやすい肉体労働をえらんだ。実際肉体労働しか仕事が無かったけど。毎日一生懸命働いて食事がおいしく早寝早起きだった。



局長 いずみ夫人 秀峰

～何故、25歳になってから、医師を目指す事になったのか?～

いろんな職種を経験したが、自分が何をしたいのかわからなかった。その頃は体も大きく、洋服のサイズや靴のサイズが日本ではあまりなかったこともあり、アメリカに憧れ、渡米したいと思うようになった。アメリカに行けば何かあるかもという単純で甘い考えだったけど。ありがたいことに両親はいつも自分の好きようにさせてくれた。諦めていたのかも。母親はユタ神のところに行き、私が将来どうなるか聞きにいったみたいですけど。アメリカ行きの決意を母方の祖母にも伝えに行った時に、いろんな話をしました。祖母が私が学生時代に警察にお世話になった時に、奄美にいる両親に代わり身元引受人として迎えに来てくれたこともあり、素直に話を聞きました。祖父は医師だったようですが44歳で病に倒れたそうです。あまりそれまで詳しい話を聞いたことがありませんでした。33歳という若さで後家になった祖母は4人の子供を苦勞して育てたようです。その祖母から、何とか男の孫から医師をめざす者ができて欲しいという気持ちを聞きました。それまでさんざん迷惑をかけていたこともあり、私自身もかなり昔に医師に憧れていたこともあり、いろんな意味で貢献できると考え医師をめざしました。

～後輩達に向け、メッセージをお願いします。～

いろんな人の支えがあって今の自分があると思います。特に若い時は、自分がそうであったように何をしたいのか何ができるのかがよくわかりません。そのため自暴自棄になり刹那的な考えができてきます。そういう時に家族であったり、先輩であったり、同級生であったり、相談にのったりアドバイスしてくれる人がいます。最終的に決断するのは自分自身だけど、そういう話に素直に耳を傾けることが大事だと思う。自分の可能性を自分でつぶすようなことは絶対にして欲しくない。私が医学部に入学した時も私より年齢が上の人が何人かいました。自分のやりたいことが見つかるまで時間がかかることもあります。新しい目標や夢を掴むのに年齢は関係ないと思います。私は医療という現場で多くの人の生死に関わってきました。人間いつかは必ず死にます。死があって生は輝きます。だからこそ今を一生懸命生きることが何より大事なことです。

重信 秀峰
◆しげのぶ しゅうほうプロフィール
1966年 昭和41年9月20日生
3人兄弟の末っ子 血液型 B
名瀬市(現在の奄美市生まれ)
姉、兄と同様に中学より鹿児島市内転居し、高校は鹿児島市内の進学校に通うが、進学する目的もてず高校3年の時から土木仕事に従事する。卒業後も土木会社で働いた後に引越し会社に勤務。その後も配送業、飲食店等複数の職種を経験後に福岡の予備校に入学。24歳で福岡大学医学部に進学。30歳で卒業し医師となる。

◆家族構成～
妻いずみと二人暮らし
オオクワガタと小品盆栽と一緒に生活

<重信秀峰先生へ友人からの言葉>

医は仁術なり

「医は、人命を救う博愛の道である」ことを意味する格言。特に江戸時代に盛んに用いられたが、その思想的基盤は平安時代まで遡ることができ、また西洋近代医学を取り入れた後も、長く日本の医療倫理の中心的標語として用いられてきた。

上前 琢郎

厳しい社会情勢が続く不景気なこのご時世に、この言葉がびつたりくるのが重信秀峰、この男だ。

医は術なり、となり兼ねなく、また実際にそうならざるを得ない医師が多い中、本当に彼は【信念と真心】を、全力を持って患者様に接していると思う。

お互い高校受験に失敗し、一浪すべく予備校で会ったのが最初だった。時代背景的にも校内暴力など…日々、マスコミや報道等で取り上げられる機会が多かった時代である。現在のように、情報が簡単に伝達して来なかった当時の鹿児島も例外ではなかった。予備校だということに、自称〇〇中の、番だの副番というも数名いる中、1人際立って身長も高く、大きくて厳つそうな奴がいた。それが秀峰だった。直ぐに意気投合したが、彼は県No1進学校へ。そんな進学校の中でも、人と一緒に嫌だから…という単純な理由で、後頭部の方へ剃り込みをいれたと聞いた時は笑ってしまった。

私は、高1の二学期から群馬県の高校に転校した為、それ以来疎遠になってしまったが、10年近く経ったある日、叔母から「重信君は福岡の医学部に入ったらしいよ!」と聞いた。当時、私も福岡にいたので、駄目元で104に「重信秀峰っていますか?」と問い合わせた。なんといると言うではないか。早速、電話をかけてみて、いきなり「元氣?」と言ってくれたら、即座に「琢郎?」って返ってきた。

その晩、早速9年ぶりに待ち合わせをして、中洲に繰り出した。店を捜し求めて歩いていると、裏家業の方々の御一行さん10数名がいたのだが、そこで一悶着あった。「今度から、相手見てもの言え!」と吐き台詞を吐いたのは、秀峰。「お前も、医学部に入った

のだからやめとけよ!」と言ったら、「わん(奄美弁で俺の事)まだ、なめられた口を叩かれて、はい そうですね…と、良く落ち着ききらん!!」との事だった。

随分久しぶりだったが、相変わらずの元氣者は健在だった。

その後30歳の時、私は鹿児島市内の脳外科のリハビリ室に勤務していたので、院長・副院長の回診に、医学部6年生の秀峰を同行させて頂いた事がある。キャリアのある看護師たちですら、「どこのドクターなのですか?」と聞いてくるほど落ち着き払い、貫禄に満ち溢れ、黙ってれば学生とは到底思えないほどの存在感だった。

数年後、国家試験に受かった彼と、別の病院で偶然一緒になった。外から診療の様子を聞いていると、内科医になっていた彼は高齢の患者様を相手に、実に大きな声で分かりやすく尚且丁寧な素晴らしい診療をしている事が伺えた。3分診療が当然の様になってしまっている現在、彼の診療は違った。

本来の医師の姿である。

患者様の立場に立って親身になり、症状の訴えに耳を傾け、細かいところまで配慮し、納得のいかれるところまで説明を繰り返す。当然の事と言われればそれまでだが、前述の通り現代ではそういう医療機関や医師が少なくなってきている事も、残念ながら事実である。そんな彼の診療をカーテン越しに聞いていて、同級生ではあるが、心から尊敬し、そして感動すらしていた。立派なお医者さんに秀峰がなったという事実が、何故だか自分の事の様に嬉しかった事を鮮明に記憶している。

その後も、私の結婚式の時には友人代表を務めてくれるなど、昔となら変わらないお付き合いをしてくれている。余談ではあるが、離婚時もご夫婦で証人になって貰った。

そんな彼は、密かに【鹿大のポップアップ】と呼ばれている。鹿児島大学医学部や大学病院内で、それが重信医師の事であることを知らない人は、もぐりと言われるほどだ。それくらい存在感の持ち主である。体格もさることながら、器の大きさ・懐の広さ・情熱・まごころ…何を取っても、人一倍でっかい。

私も、患者の立場になった時には、この先生のところに、いの一歩に駆けつけたいと心底思う【ファン】の1人だ。今後も、数多くの不安に悩まされる患者様方の強い味方であり続けてくれる事であろう。

医は仁術なり!
この言葉を地で走る、そんな秀峰が私の自慢の医師であり、友である。
2009. 8.31 友人代表 上前琢郎



新撰組同志会十ヶ条 一、個々の喜び、悲しみを皆で共有する。 二、個々の情報を皆で共有する。 三、私利私欲に走ってはならない。 四、同志の誹謗中傷をしてはならない。 五、同志一人一人が真の幸せになる事を大義とする。 六、義理人情を後世に残す。 七、真の人間のあり方を個々が追求する。 八、同志一丸となって社会貢献に心掛ける。 九、威張らない、怒らない、ぼやかない。 十、笑顔と挨拶を忘れずに。

夢 Dreams



山川 学士 (やまかわがくと) 池田高校 3年生

私は鹿児島市の高校に通っている山川学士と申します。自分の夢は父親の会社の跡を継ぐことです。もちろん、継ぐだけではなく、尊敬している父親以上の頭角を現すことが自分の目標でもあり、夢であります。今、自分は高校三年生であり、大学受験という自分の夢を実現させるための最初の壁を突破しようと、日々勉強しております。全国の高校生、または全国の浪人生と競争する中で、時折、弱気になってしまうような時は自分の座右の銘でもある「楽観は意志、悲観は感情」を思い出し、強い気持ちで不安を解消するようにしています。もう引退しましたが、高校の部活動でラグビー部に所属し、ラグビーを通じて沢山の出会いもありましたし、多くの事を学びました。ラグビーは体はもちろんのこと、ハートも鍛えられる良いスポーツですよ!今の自分の目標は大学に現役合格することです。決して夢ではありません。最初に挙げた夢はもっと困難で偉大なものです。残り少ない高校生活、辛いことも沢山あると思いますが、自分の夢につながる目標を達成するために、一日一日を大切に、常に前向きに過ごしていきます。きつくて、しんどいのはみんな一緒。辛い思いをすればするほど、きっと大きな喜びが待っているはず…。



森 佑 (もりゆう)

初めまして。GSジャパンの森佑といいます。自分は「夢」という確立した事は無く、今は家族全員が食べる物にも困らないくらいの生活をしたい。という目標があります。最近母が病気になってしまい、支払いも多く、色々悩み事を抱え込んでいます。とりあえず今は目の前の事を少しずつ改善していきたいと思っています。そうすればいずれ、「夢」というのが見えてくると思っています。その「夢」がどんな事であろうと全力で向かっていき、後悔のない様にしていきたいと思っています。



月村 直樹 (つきむらなおき) 日本大学 歯学部歯科補綴学 教室II講座 日本大学 歯学部付属歯科病院 特殊診療科部 スポーツ歯科 准教授

Dream comes true ??
私は、現在日本大学歯学部にて勤務している月村と申します。2005年6月から2008年4月まで、ロサンゼルス市のUCLAに留学する機会を得て約3年間家族とともに参りました。私には3人の息子がおり、留学した際にロスの現地校に入学させたところ、そこですに通っている重田家の息子さん達と仲良くなり、そこから家族ぐるみでお付き合いさせていただいております。昨年、本年と私や私の長男がロサンゼルスに行ったときは泊めていただいたり、逆に重田家の息子さん達が東京に来た際には、私の家に泊まったりして親交を暖めております。さて、本題である私の夢ですが、大きく2つあります。一つは、日本の歯科医療をもっと尊敬される仕事にしたいこと、もう一つは、プロのボーイスカウトのリーダーになりたいことです。私は、アメリカでは歯科医であるという立場と大学の教員という立場の両



吉満 駿太郎 (よしみつしゅんたろう) ラ・サール高校 1年生



吉満 優太郎 (よしみつゆうたろう) 鹿児島大学 教育学部附属 小学校3年生



大栄 光生 (おおえこうせい) 九州産業大学 2年生

最初に持った夢は、幼稚園の頃、当時大好きだった機関車トーマスになること。小学校が上がって、野球選手になりたいと考えた。それから数年を経て、小学校の高学年の頃、ディズニーランドで働きたくなった。中学校に入ってから野球選手になるための道の険しさを知り、「夢」と自分の進む道との違いを知った。16歳になり、今考えるのは現実的にディズニーランドで働くことという視点でとらえ、私がなぜディズニーランドのスタッフの方に惹かれたか、それは、ひとえにそこで働くキャストの方々のお客様に対する気持ちが伝わったからだろうと思う。そこで過ごす時間は、子供の頃も今もとても幸福な気持ちでいられる。ディズニーランドは、日本一サービスに徹底している場所だと聞く。多分私はこのような「人を喜ばせる仕事を求めているのかな…」と考える。形は何でもいい、一瞬でも自分にかかわったことにより、人を喜ばせ幸福感を与えられるようなそんな仕事をしたいと思う。ぼくの夢は、水ぞく館の館長になることです。そのためにはぼくは、魚のことをたくさん勉強して、いおワールドはかせにもなりたいです!去年はさかなくにも会いました!ぼくの作りたい水ぞく館は、鴨川シーワールドのような海岸に沿った世界一の水ぞく館です。ジンベイザメを10匹、深海魚のメガマウスザメやダイオウイカやリュウグウのつかいをみんなに見せたいです。その水ぞく館でバイオリンのコンサートもしたいです。ぼくは、たくさんの魚と友だちになって世界一の水ぞく館の館長になるぞ!!僕の将来の夢は、今まで続けてきた野球を小さい子供に教えることです。私は小さい時から野球を続けてきて、楽しい思い、きつい思いをいっぱいしてきました。楽しいだけでなく、社会に出て役に立つ事をたくさん教えてもらえるのが野球だと思います。つらい時は仲間が助けられ、うれしい時は仲間と分かち合い、仲間の素晴らしいプレーを学べました。「野球人の前に立派な人であれ。」というのが私が思っていることで、野球を通じて立派な人になれるように、子供達に教えてあげたいと思います。そして、私も今、両親にとっても感謝しています。その感謝の気持ちを忘れず、これからの大学生活を送っていきたいと思います。小さい子供達にも感謝の気持ちを忘れないような大人になってもらえるように野球を通じて教えられるといいなあと思っています。自分の夢を叶える為に、これから立派な大人になっていきたいです。

闘牛 闘誠 ロサンゼルス新撰組レストラングループ 近況報告

7月25日、局長(重田光康)と古田正仁さん(琉球白虎号牛主)の二人が挨拶を交わしました。平成22年1月2日伊藤観光ドームでの横綱戦で賭け無しのクリーンな闘牛大会を約束。なくさみ(闘牛)に対する想いを熱く語り、お互いの考え方が同様と実感。局長は古田さんの牛に対する思いやり、愛情に感銘を受け、関心しきりでした。

新撰組 山本山号
山本山号との練習風景
前田信一郎さんが大切に育てています
来年1月2日に対戦する琉球白虎号と牛主 古田正仁さん